

1. 瀬戸屋敷周辺の環境整備を問う

去年から今年にかけて、金井島地区で9匹のハクビシンが捕獲されており、捕獲されたハクビシンのほとんどは皮膚がただれ毛が抜ける疥癬症^{かいせんしょう}にかかっていた。捕獲した方の話によると、ハクビシンは瀬戸屋敷の竹藪を住み家になっている可能性があるという。

地域ではハクビシンがかかっている疥癬症が家畜やペットに感染しないか、感染したペットから人にうつることはないかと心配する声があり、ハクビシンが住み家とする場所をなくす環境を整えることが重要である。

地域の方は瀬戸屋敷内を住み家をしているハクビシンがいるのではないかと、さらに、町内の空き家にも住み着いているのではないかと危惧されている。

また、瀬戸屋敷周辺に植えられている樹木が覆いかぶさってカーブミラーが見えないこと、樹木が防犯灯に覆いかぶさり防犯灯の光が遮られている現状や、強風が吹くと樹木や竹の枯れ葉が散らかり、地域住民が後片付けに追われている。

このような観点から次の事項を問う。

- ① ハクビシンの対策について、町の考えは。
- ② 地域住民からの連名による要望が出されたと聞くがその対応は。
- ③ この問題を解決する策は「指定管理者との管理業務等に関する協定書」に含まれているのか。
- ④ 地域住民と話し合う考えは。